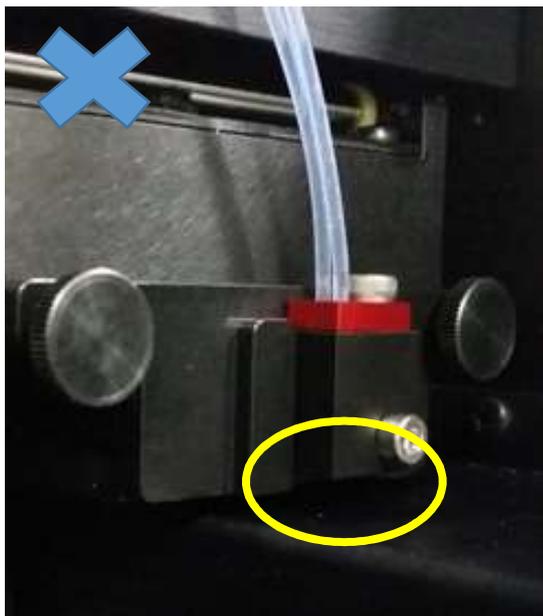


GloMax Navigator インジェクタークリーニング

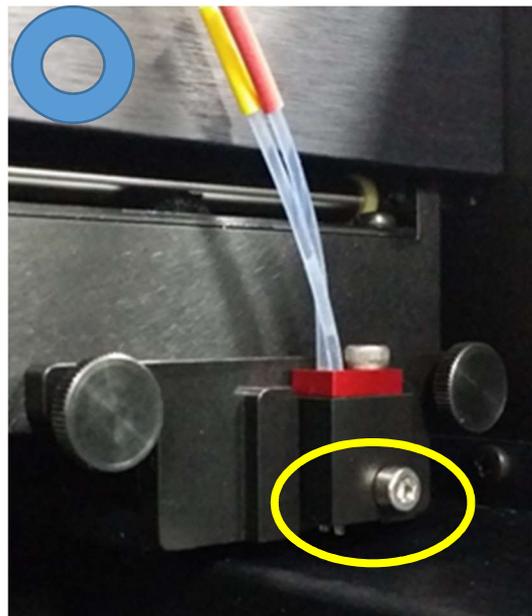
インジェクターのチューブのゆるみやパーツに付着した汚れなどで分注動作にエラーが出る場合がございますので、正常動作を維持するために定期的にクリーニングを行ってください。

① チューブのゆるみ確認、汚れのクリーニング

チューブのゆるみやチューブの先端部位（チップ）に汚れなどがありますと、正常な分注ができない場合がございます。下記の部位をチェックしてください。



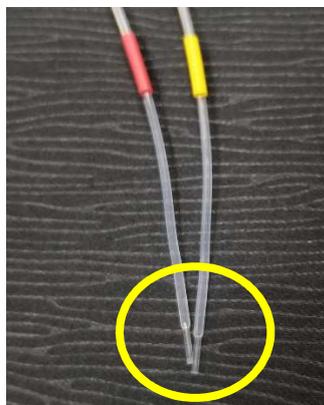
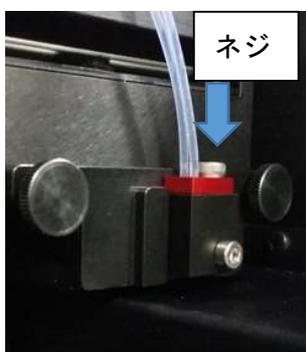
↑チューブの先端が見えていない



↑チューブの先端が見える

チューブの先端が見えていない、片方しか出てない場合

- 1) 装置の電源を切った状態で、納品時に同梱されている六角レンチを使用して下図のネジを一度緩めてください。チューブが上に抜けるようになります。抜いたチューブの先端（チップ）部位が汚れている場合は、水を含ませた布等でやさしく拭いてください。（先端は大変細くなっているため、取扱にご注意ください）

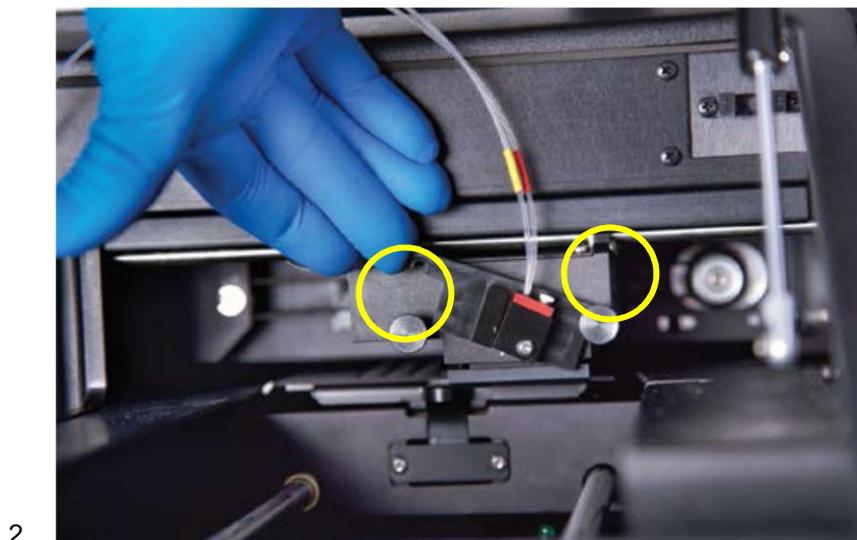


- 2) チューブをしっかりと上方から差し込んで、右上図のようにチューブの先端が出ていることを確認して、六角レンチで絞めてください。

② トレイとオプティカルヘッドマスクのクリーニング

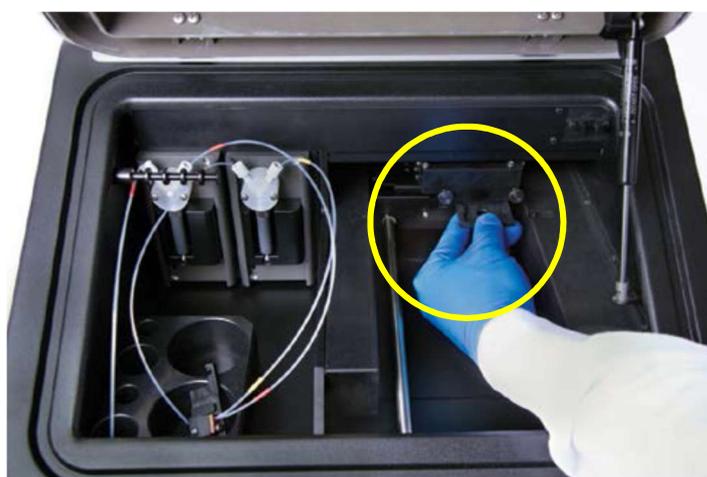
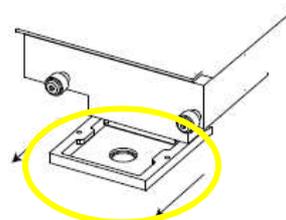
トレイ移動時に異音、もしくは動作時に止まってしまう場合、オプティカルヘッドマスクとトレイカバーへの液体付着等による汚れが原因で起こる場合がございます。その際は、下記クリーニングをお試しください。

1. 装置の電源を切った状態で、下図を参考に、チューブホルダーを止めているねじを手で緩めます。チューブホルダーを取り外します。



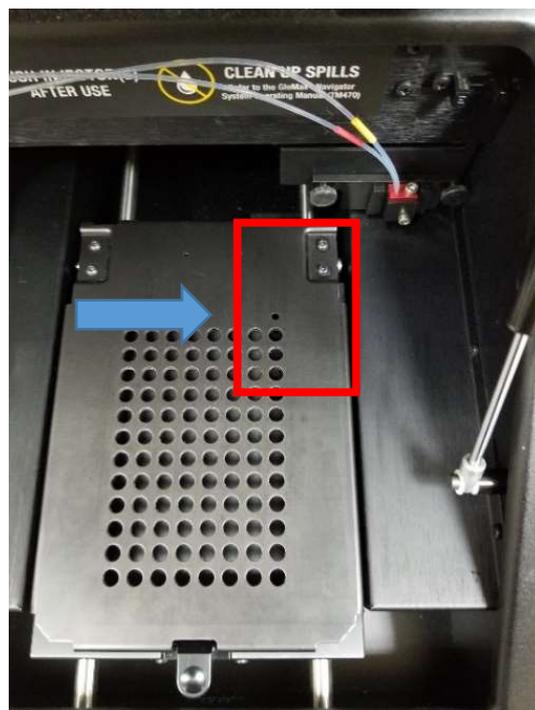
3. オプティカルヘッドマスクを手前に取り出して、70%エタノールを含ませた布等でしっかり拭いてください。拭き終わったら、マスクは元の位置に戻し、チューブホルダーを元通りに取り付けて、チューブホルダーの止めネジをしめてください。

オプティカル
ヘッドマスク

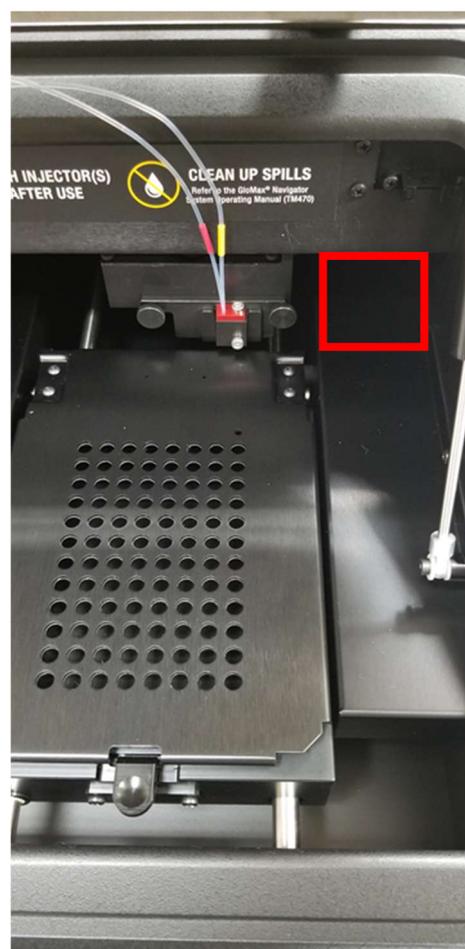


2. トレイを手で手前に引き出し、サンプルトレイカバー上面を、きれいに拭いてください。

特にオプティカルヘッドマスクと交差する赤枠の部分は特に汚れやすいです。70%エタノールを含ませた布等でしっかりとごしごし掃除をしてください。

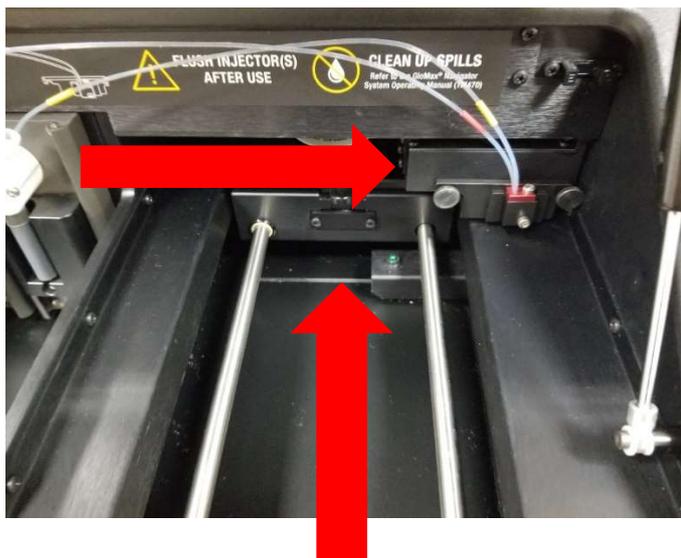


次に、オプティカルヘッドを中央に移動させて、赤枠の部分を 70%エタノールを含ませた布等でしっかりとごしごし掃除をしてください。こちらの場所がオプティカルヘッドのホームポジションになります。オプティカルヘッドマスクが汚れていた場合、こちらにも汚れがついている場合がありますので、しっかり掃除をしてください。



3. クリーニングがおわりましたら、下図を参考にトレイとオプティカルヘッドの位置を移動させてから、電源を入れてご使用ください。

オプティカルヘッドマスクは一番右側まで移動させてください。



トレイは一番奥まで移動させてください。

ご不明な点やご質問はこちらまで連絡ください

プロメガ株式会社 テクニカルサービス部

電話 03-3669-7980 FAX. 03-5614-6079

e-mail : prometec@jp.promega.com

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 14-15